

〔 7 〕 自然環境

7-1 自然環境関係

(1) 緑被状況

本町の植生で特に多いのはクヌギ・コナラで、町全体に分布しています。また市街化調整区域を中心として畑、果樹園も多く見られます。

緑被地現況量

(単位：h a)

	市 街 化 区 域	市 街 化 区 域 調 整 区 域	合 計
自 然 林	0.0	0.1	0.1
スギ、ヒノキ等の人工林	5.1	12.4	17.5
クヌギ、コナラ	30.8	133.3	164.1
竹 林	0.0	0.5	0.5
ススキ、ササ	1.2	8.8	10.0
水田	0.2	1.5	1.7
畑	13.9	50.4	64.3
果樹園	4.0	85.2	89.2
裸地	17.8	11.3	29.1
水面	5.1	2.7	7.8
水辺	1.8	1.0	2.8
都市公園の植栽地	5.2	12.3	17.5
公共公益施設の植栽	0.4	0.9	1.3
民有地の植栽地	1.3	23.2	24.5
緑被地合計	86.8	343.6	430.4
全体の面積	434	474	908
緑被率	20.0%	72.5%	47.4%

資料：都市計画基礎調査（平成17年度）

(2) 有害鳥獣等

野生鳥獣による農作物被害への対策として、有害鳥獣等の駆除を行うため、檻の貸し出し(イノシシ・ハクビシン・アライグマ・シカに対するもの)を行っています。鳥獣の捕獲は事前に町及び県、国へ申請し、許可を得ることが原則となっています。

捕獲数

・イノシシ 6頭 ・ハクビシン 7頭 ・カラス 1羽
 ・タヌキ 1頭 ・アライグマ 9頭